



夢の本棚

発行所：松居直コレクションプロジェクト
代表：金戸 美紀子
事務局：石川県小松市 小馬出町10-3
空とこども絵本館
☎ 0761-23-0033
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

人間としての骨組みをつくる絵本をめざして



★2017年1月に、教文館より発刊された藤本朝巳氏の著書。「絶対に人まねはしない」と心に誓い、戦後日本の新しい絵本文化の道を拓いた松居直氏の絵本づくりの哲学とその奥義を紹介★本書には、2013年11月に小松市の第一コミュニティセンターで行われた松居氏と藤本氏の特別対談「絵本を見る眼～ロングセラー絵本の秘密」（松居直コレクションプロジェクト主催）も収録されています★ぜひご覧ください。

2月18日（土）に藤本朝巳氏をはじめ、『ニびきのがらがらどん』『おおかみと七ひきのこやぎ』など、たくさん外国の絵本が翻訳されて日本の子どもたちに読まれています◆

◆「ちいさなつぎとちやん」をはじめ、『ニびきのがらがらどん』『おおかみと七ひきのこやぎ』など、たくさん外国の絵本が翻訳されて日本の子どもたちに読まれています◆



藤本朝巳氏講演会

2/18 藤本朝巳氏・小風さち氏の講演会を開催
絵本のことばの選び方

朝巳氏を絵本館ホール夢の本棚にお迎えして「翻訳絵本を楽しむ」との演題で講演会を開催しました。藤本氏の講演は、松居氏との対談も含めて、今回で4度目となりました。

読みに堪える文章に

◆まず初めに、松居氏が福音館書店で翻訳絵本に関わられた経緯について、丁寧にお話し頂きました◆また、翻訳絵本の舞台裏とし

◆4月29日（土）、絵本作家の小風さち氏（松居氏長女）が「絵



小風さち氏講演会

て、ご自身が翻訳された絵本をもとに、翻訳の面白さや難しさ



◆「わにわにのおふろ」の制作では、ワニ園を訪れて構想を練ったことを語られました◆一方、年少から中期にかけては、子どもたちのことばがぐんと増える時期でもあり、

◆「よだれ」の制作にあたっては、母親だった頃の自分に耳を傾けることごとばを紡いできたことを語られました◆

◆「ぶーぶー」の誕生にあたっては、「赤ちゃんはことばを食べるように体の一部にする。シンプルな言葉と美しい絵があれば十分」であることに傍と気づき、それ以来、テキストとして頭に浮かぶようになったこと。また、

◆「ぶーぶー」の誕生にあたっては、「赤ちゃんはことばを食べるように体の一部にする。シンプルな言葉と美しい絵があれば十分」であることに傍と気づき、それ以来、テキストとして頭に浮かぶようになったこと。また、

◆「音楽である私」の詩を朗読してにこやかに講演を結ばれました。

◆「足の内裏」で記憶するようになる」とも◆また、知人の紹介で訪れた「大岡信ことば館」（静岡県三島市）で

◆「足の内裏」で記憶するようになる」とも◆また、知人の紹介で訪れた「大岡信ことば館」（静岡県三島市）で

◆「自分の目と書く」◆そこで、日常生活の中でやり取りすることばを大事にしながら、自分の「目」と「足」で書き、リアリティーが滲み出るように意識されたこと◆さらに、「見る」と「見えてい

た経験を紹介。「絵や文にリアリティーがなければ、子どもは本を閉じてしまう」と語られました。